



<報道関係者各位>

すみだ北斎美術館 企画展のご案内

開催期間 2019年4月23日～6月9日

北斎の なりわい 大図鑑



☆3つの画像は江戸時代の生業です。どんな仕事なのか想像しながらご覧ください。

北斎の描いた江戸時代の仕事人が大集合!

現代に通ずる“生業”のルーツがここに!?

本展では、新発見の北斎の肉筆画「蛤^{はまぐりう}売り図」をはじめとした、北斎一門による江戸時代の生業^{なりわい}が描き出された作品を展示します。

生業とは一般的に、生活をするための仕事を意味します。生活にむすびついている仕事はその社会のありかたを映します。江戸時代には、現在ではなじみのなくなってしまう生業がある一方、現代の商売のルーツになる仕事も存在します。本展では、仕事に注目して制作された作品や、景色の中に溶け込むように描かれた働く人々の一場面を捉えた作品など、当時の人々の会話が聞こえてきそうな活気ある作品を展示します。働く人々に向けられた北斎のまなざしを通して、江戸の生業をご紹介します。 ※本企画展は3階のみとなります。

目次

■展示構成および本展の見どころ
■関連イベントのお知らせ
■割引サービスのお知らせ

P.02
P.08
P.10

■開催概要
■次回企画展のお知らせ
■4月22日内覧会のご案内

P.10
P.11
P.12



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

■展示構成および本展の見どころ

～1章 ものを売る生業～

本章では、^{ぼてふ}棒手振りや熊の^{こうやく}膏薬売りなど、様々な販売業をテーマとします。現在では、ものを買うときはデパートやスーパーなど1か所で様々なものが購入できたり、ネットでショッピングができたり、売る方にとっても買う方にとっても便利な方法がたくさんあります。一方、江戸時代には小売り業者が市中を売ってまわる棒手振りが活躍し、流通を支えていました。現在とは異なる流通の方法や、今も昔も変わらない売買をめぐっての人々の交流にもご注目ください。

<本展最大の見どころ。新発見「蛤売り図」>

新発見



蛤売り



「蛤売り図」(部分)

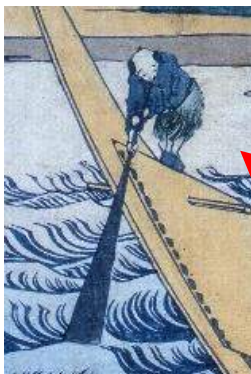
これまで知られていなかった北斎の肉筆画「蛤売り図」が当館のコレクションに加わり、本展で初お披露目となります。また「蛤売り図」は、表具を修復していますが、修復前の表具の題簽には「^{だいせん}蜆売^{しじみうり}」との記載があり、これまで^{しじみう}蜆売^うとされていました。しかし絵の描写から北斎は「蛤売り」として描いたと推測されます。作品をよく見ると満杯の貝殻は白っぽく描かれており、蜆の黒っぽい貝殻ではない事が確認できます。本展では、この度新発見された作品を読み解いてゆきます。



～2章 自然の恵みをいただく生業～

漁師やきこりなど自然から資源を採取する生業をご紹介します。自然を相手とする生業は、時には厳しい環境で仕事に従事しなければならないこともありますが、北斎の描く絵からは仕事のつらさなどは感じられず、その厳しい環境を大胆な構図で描きとっています。働く人々の躍動する肢体や、仕事の合間の休憩に見せるリラックスした表情など、自然の中で働く人々の姿をご鑑賞ください。

漁師と
製塩業



近景には漁師が!



製塩業の人々

「富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図」

田子の浦は、富士山が見えるところとして有名でした。

近景には漁をする人、遠景には塩田で作業をする人の様子が伺えます。

猟師



暖をとる猟師たち



「百人一首うはかゑるとき 源宗于朝臣」



～3章 人を楽しませる生業～

本章では、歌舞伎役者や大道芸人など江戸のエンターテイナーたちが登場します。テレビなどの娯楽がない時代、パフォーマーたちは日々の暮らしに彩りを与える大切な存在だったことでしょう。現代に伝わる芸も多く、親しみのある姿も見られるかもしれません。北斎は、音曲やせりふ、観客のざわめきがきこえてきそうなほど、彼らの姿をいきいきと描きとめています。あっと驚く芸から、風雅な芸まで江戸のパフォーマンスをお楽しみください。

人形遣い



「基盤人形」

のぞきからくり
視機関

「視機関」(部分)

大道芸の一種で、箱の下にあるレンズをのぞき、ひもを操作して次々に変わる絵を見ることができます。何が見えるか？とても気になります！



～4章 ものを運ぶ生業～

本章では、飛脚や駕籠かきなど輸送業に携わる人々の姿を展示します。現代では、人やものを運ぶ時には主に車、船、航空機を使い、人力でものを運ぶことは少なくなってきました。江戸時代も輸送に船を使うことはありましたが、人が自ら担いだり、馬など動物を使ったりと機械に頼ることなく運搬が行われていました。人力や、動物を使ってものを運搬することは大変ですが、息をあわせながら仕事にいそむ人々の姿をみてとることができます。

かご
駕籠かき

「百人一首宇波か縁説 藤原道信朝臣」



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



川越人足



「富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二」

橋のない大河で、人を肩や運^{れんだい}台に乗せて、川を渡る仕事を描いています。

～5章 ものを作る生業～

本章では、桶屋や絵師など、匠の姿をとりあげます。現在では3Dプリンターなども登場し、産業の機械化は加速していますが、北斎の生きた時代にはすべて手作業で物作りが行われていました。また、絵師など今はアーティストとしてとらえられているジャンルの職業も、当時は職人としての位置づけがなされていました。社会のあり方の違いにも思いを馳せながら北斎の描く江戸の職人をご覧ください。

桶屋



「富嶽三十六景 尾州不二見原」

桶作りの職人が大きな桶の中から姿を見せる富士山を背景に、板を削っている姿を描いています。大きな円の中に小さな三角の富士を描いた北斎の構図の面白さがあります。



大津絵師



「五十三次江都の往かい 大津」

後ろの屏風にはかわいらしい大津絵が飾られています。お土産としても人気の大津絵を制作中です。

～6章 生業いろいろ～

本章では、医者や紙屑^{かみくず}買いなど、これまでの章の分類にとどまらない様々な生業のご紹介や、色々な種類の生業がまとめて描かれている作品の展示をいたします。生業からは、当時の人々の生活の知恵や暮らしぶりを想像することができます。展示をすべてご覧になった後には、浮世絵に描かれた人々の暮らしが鮮やかに想像できるようになり、これまで以上に江戸の世界に入りこむことができるかもしれません。

医者



『北斎漫画』十二編 治療

髪結い



「髪結いの武士」(部分)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■ 広報用画像データ

メールにてご送付いたしますので、ご希望の画像をお選びください。

1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



1. 「富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図」 2. 「百人一首うはかゑとき 源宗于朝臣」
3. 「富嶽三十六景 尾州不二見原」 4. 「五十三次江都の往かい 大津」
5. 『新累解脱物語』(部分) 6. 「蛤売り図」
7. 「百人一首宇波か縁説 藤原道信朝臣」 8. 「富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二」
9. 「碁盤人形」 10. 「視機関」 11. 『北斎漫画』十二編 12. 「髪結いの武士」

※全て作品は葛飾北斎、すみだ北斎美術館蔵

■ 「北斎のなりわい大図鑑」展リーフレットを販売致します。

本展の主要作品およびその解説を収録したリーフレットを 300 円(税込)で販売します。当館のミュージアムショップでしかご購入いただくことのできない、リーフレットとなります。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■展示のお知らせ

4階企画展示室は現在、期間限定で「常設展プラス 隅田川兩岸景色図巻（複製画）と北斎漫画」を展示中です。当館所蔵の版本『北斎漫画』など貴重書の展示や、「隅田川兩岸景色図巻（複製画）」の絵巻を、全長7mに広げた状態でご覧いただける展示です。

※6月9日（日）まで

当館の魅力は、企画展とともにバラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など **《つながる》** に根差した企画を実施していることです。詳細は、ホームページを通じてお知らせします。

■関連イベントのお知らせ

1) 講演会「江戸のなりわい」（仮）

- ・講師：久染健夫（中川船番所資料室 学芸員）
- ・場所：MARUGEN100（講座室）
- ・日時：5月11日（土）14:00～16:00（開場 13:30）
- ・定員：60名
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

2) スライドトーク「北斎のなりわい大図鑑展のみどころ」

- ・講師：当館担当学芸員
- ・場所：MARUGEN100（講座室）
- ・日時：①5月4日（祝・土）14:00～14:30（開場 13:30）
②5月25日（土）14:00～14:30（開場 13:30）
- ・定員：60名
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

3) ワークショップ「和綴じ本をつくろう」

- ・講師：当館司書
- ・場所：MARUGEN100（講座室）
- ・日時：4月27日（土）14:00～16:00（開場 13:30）
- ・定員：20名（事前申込み制となります。詳細はHPをご覧ください）
- ・料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

ご家族で楽しめる
ワークショップ★



和装本とは、糸を使って綴じる日本に古くから伝わる手法で製本された本の事です。

1つ1つの過程は丁寧にお伝えしていますので、大人から子どもまで楽しめるワークショップです。

ゴールデンウィークのお出かけ前に、和紙のぬくもりも感じながらホックリしませんか？



■スペシャルコラボ

美術館の近隣施設では「北斎のなりわい大図鑑」展とのコラボ企画を展開いたします。是非お立ち寄りください。

ORI TOKYO



本展チラシをイメージ（※予定）したデザートを、4/23（火）より販売いたします。展覧会の余韻を、コーヒーと共にいかがですか。

〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目3-7

ORI TOKYO : <https://ori-tokyo.jp/>

お得な入館料割引サービスをご用意しました

【お誕生月割引】

本展開催中の4月から6月生まれの方は（ご本人のみ）誕生月に割引料金でご入館いただけます。入館時にチケットカウンターにて、お誕生月のわかる身分証明書をご提示ください。

※対象：4、5、6月がお誕生月の方（誕生日当日でなくても利用可）

※例：5月1日生まれの方が誕生月の5月に来館されると、企画展・常設展とも割引料金でご入館いただけます

【リピーター割引】 前期・後期で展示される“見どころ作品”をチェックしてみませんか？

本展の観覧券半券をチケットカウンターでご提示いただくと、割引料金でご入館いただけます。

【メルマガ割引】 当館ならではの情報を配信中！

配信されたメールマガジン本文の画面、もしくはプリントアウトしたものをチケット購入時にご提示の方は、割引料金でご入館いただけます。

◎上記いずれも20%割引となります

◎他の各種割引とのご併用はできません



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■開催概要

○展覧会名：「北斎のなりわい大図鑑」

○会期：2019年4月23日（火）～6月9日（日）

◎前期：4月23日（火）～5月19日（日）

◎後期：5月21日（火）～6月9日（日）

※前後期で一部展示替えを実施

※休館日：毎週月曜日

※5/7(火)、5/13(月)、5/20(月)、5/27(月)、6/3(月)休館

○主催：墨田区・すみだ北斎美術館

○お問い合わせ：すみだ北斎美術館

○観覧料：

一般 1,000 円 < 800 円 >、 高校生・大学生 700 円 < 560 円 >

中学生 300 円 < 240 円 >、 65 歳以上 700 円 < 560 円 >

障がい者 300 円 < 240 円 > ※ < > は団体料金

※団体は有料のお客様 20 名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65 歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の 1 名まで障がい者料金でご覧いただけます。(入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願いします)

◎本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)をはじめ全ての展示をご覧になれます。



【すみだ北斎美術館】

開館時間：9:30-17:30（入館は 17:00 まで）

休館日：毎週月曜日

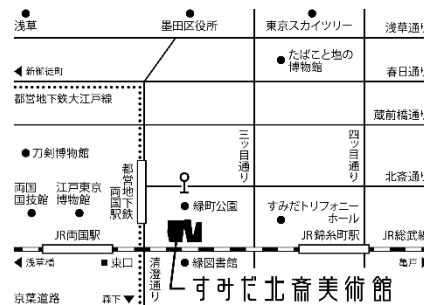
（月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日）

住所：〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2

電話：03-6658-8936

公式サイト：<http://hokusai-museum.jp/animals/>公式 Twitter：<https://twitter.com/HokusaiMuseum/>

公式 Facebook：

<https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>

都営地下鉄大江戸線「両国駅」出口より徒歩 5 分

JR 総武線「両国駅」東口より徒歩 9 分

JR 総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで 5 分

報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp

すみだ北斎美術館



■今後の企画展予定

◇2019年6月25日（火）～8月25日（日）

「綴プロジェクト 高精細複製画で綴る
スミソニアン協会フリーア美術館の北斎展」



日本美術の宝庫として知られるフリーア美術館（米国ワシントン D.C.）は、所蔵品に関して門外不出の方針を貫いているため、現地を訪問しない限りその秀逸なコレクションを鑑賞することはできません。そこで本展では同館が所蔵する膨大な作品の中から、北斎の肉筆画 13 点を選抜し、最新鋭のデジタル技術と京都の伝統工芸の技によって高精細複製画を制作、これをすみだ北斎美術館が所蔵する約 130 点の作品と共に展示します。